

第6学年 社会科学習指導案

<デジタルアーカイブの活用について>

今回は「明治の国づくりを進めた人々」の小単元でデジタルアーカイブの資料を活動した。主に『港区史 通史編 近代 上』の中の写真を児童に提示した。また、教材研究の材料として、『港区史 図説 港区の歴史』内の第6節、新橋停車場や、第8節、富国強兵と近代工業を活用した。それ以外にも港区郷土資料館の資料も参考にさせていただいた。歴史学習において、港区デジタルアーカイブは資料として活用すべきものであると考え、以下の指導計画を考えた。

(1) 小単元名「明治の国づくりを進めた人々」

(2) 小単元のねらい

黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、この頃の政治の仕組みやその中の様子を捉え、その変化を考え、表現することを通して、我が国が明治維新を契機に欧米の文化を取り入れつつ、近代化を進めたことを理解できるようにすると共に、学習問題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。

(3) 小単元で目指す子ども像

知識及び技能	新しい国づくりを進めた人々が、富国強兵を掲げ軍備の拡張や産業の発達など、明治維新を機に欧米の技術や文化を取り入れ、近代化を進めたことを理解しようとする子ども。
思考力・判断力・表現力等	大隈重信や伊藤博文らが行った諸政策の意味について考え、明治政府が目指した国づくりの特色を自分の言葉で表現することができる子ども。
学びに向かう力・人間性等	大隈重信や伊藤博文など明治の新しい国づくりを実施した人々の業績などを進んで調べると共に、これらの人々が果たした役割に関心を持とうとする子ども。

(4) 本実践の意図について

①鉄道開業 150 周年を軸とした単元構成を考える。

ア. 導入での地域教材の活用（港区デジタルアーカイブの活用）

小単元の導入では、地域教材である「高輪築堤」を活用して、児童の興味・関心を高めるようにした。高輪築堤は、現在の港区高輪地区に鉄道が開通した際、海上に線路を敷設するために築かれた鉄道構造物である。本校の学区の近い場所で高輪築堤が発見されたことから、身近な地域教材を活用して江戸時代から明治時代のくらしの移り変わりを学ぶことができると考えた。

また、同じく導入で鉄道が高輪地区の海上を走っていたという事実を伝えていく。これにより、児童から驚きが生まれると予想し、小単元を通して児童が意欲的に学習することができると考えて本実践を行った。

イ. 大隈重信と伊藤博文を中心に小単元を展開

本小単元では、明治期の鉄道開通の様子を教材化し、明治政府が新しい国づくりを進めたことについて学習していく。そのために、明治時代にくらしの様子が大きく変化する1つのきっかけとなった鉄道の開通に携わった大隈重信や伊藤博文の行動を軸に学習を進めていく展開を試みた。これによって、明治政府で活躍した人物の行動や世の中に与えた影響が捉えやすくなると考えた。大隈重信と伊藤博文は、明治時代初め、財務省の役人だったが、その後、明治政府の重役となり国を動かしていったことから、この2人に着目することによって、明治政府の「新しい国づくり」が明確に捉えられると考えて本実践を行った。

まずは、鉄道の開通に尽力した大隈重信と伊藤博文に着目し、学習問題をつくる。次に、年表や1号列車に乗った人々に着目し、学習計画を立てる。1号列車には明治天皇の後続車両に、参議として西郷隆盛、大隈重信、板垣退助が乗っていた。年表の出来事と照らし合わせて、この3名を中心とした業績について調べていく。調べる内容は主に、以下の3つである。

- 明治政府が推進した富国強兵を目指し、地租改正をして国の収入を安定させ、西郷隆盛らによって軍備拡張が進められたこと。
- 明治政府が推進した富国強兵を目指し、地租改正をして国の収入を安定させ、大隈重信らによって鉄道拡充が推進され、殖産興業が進んで行われたこと。
- 板垣退助らが広く国民の意見を聞いて政治の生かすように主張し、憲法をつくり、帝国議会を開いたこと。

以上のように本実践では、鉄道を軸とし、それに関する人物や出来事から、明治政府が進めた新しい国づくりについて学習を深めていきたいと考える。

②明治の国づくりを進めた人物をグループで取り扱う。

明治の国づくりを進めた人々は、大隈重信や伊藤博文の他にも多数いる。新しい国づくりを進めるといふ目標は同じでも、目標に対する考え方やその達成過程は人によって様々である。本実践では、人物をグループで扱うことで、それぞれが行った政策を捉えやすいように工夫した。

ア. 明治の三傑（西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允）

明治政府は、江戸時代の大名の領地を天皇に返納させ、全国を府と県に分ける廃藩置県を進めた。明治政府の役人を全国に派遣することにより、中央集権体制を築こうとした。また、地租改正を行い、収穫高によって治めることになっていた税を、土地の価格の3%と設定し、国の収入を安定させる政策を行った。これらの国づくりの基礎をつくり上げたのが明治の三傑である。彼らは、政治の基礎を作り上げた上で、富国強兵を掲げ、工業を盛んにする取組を行ったり、強い軍隊をつくる取組を行ったりした。三傑からは、新しい国づくりを進める上で、国内の整備を優先的に行ったことを捉えられるようにする。

イ. 鉄道の開通などに尽力した人物（大隈重信、伊藤博文、福沢諭吉）

大隈重信、伊藤博文は、工業を盛んにし、国を豊かにしようと積極的に欧米の技術を日本に取

り入れようとした。主に鉄道の開通は人々の暮らしを大きく変化させた。多くの物や人を素早く運ぶことができたことに加え、各地へ文化を行き渡らせることにもつながった。また、工業を盛んにする一つの要因となった。富岡製糸場など各地で工場を建設したり、鉱山を開発したりし、工業を発展させようとする取組が行われた。そこで、材料を工場に運んだり、つくったものを港に運んだりすることで、世界との貿易も活性化した。この二人からは、新しい国づくりを進める上で、殖産興業を進めたことを捉えられるようにする。

また、福沢諭吉からは、『西洋事情』や『学問のすすめ』などで西洋の技術や文化を日本各地に広めると共に、人々の考えを啓発したことを捉えられるようにする。

ウ．憲法や議会に関わった人物（板垣退助、大隈重信、伊藤博文）

板垣退助は、「明治政府は、薩摩藩と長州藩の一部によって動かされている。広く国民の意見を聞いて政治に生かすべきだ。」と主張し、国会を開くことを主張した。国民の間でも政治参加を求める声が大きくなり、自由民権運動として各地に広まった。そこで、明治政府は、国会開設を約束し、伊藤博文を中心に大日本帝国憲法をつくる。板垣退助や大隈重信は政党をつくり、準備を進めていく。1890年に第一回の国会が開かれた。この三人からは、新しい国づくりを進める上で大切な役割を果たした、憲法の発布と国会の開設について捉えられるようにする。

(5) 小単元の指導計画 (全8時間扱い)

第1時【ねらい】

明治時代になって、人々のくらしが大きく変化したことを理解する。

	○主な学習活動 ・ 児童の予想される反応	□教師の手立て ◎資料 【評価】
導入	<p>○高輪築堤の用途を予想し、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石を積み上げているから、城のようなもの。 ・レンガ造りの橋のようなもの。 ・鉄道が走っていた。 <p>○海を走る動画から、明治時代の白金小学校付近の地域の様子を想像して話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治時代に海の中を鉄道が走っているなんてすごい。 ・学校の近くにこんな場所があったんだ。 ・高輪築堤を建設し、鉄道が開通したことによって、江戸時代とくらしの様子が変化したのかな。 ・この頃、人々はどのようなくらしをしていたのかな。 <p>○本時のめあてを確認する。</p>	<p>◎高輪築堤の写真</p> <p>◎高輪築堤の地図</p> <p>★デジタルアーカイブ(港区史通史編近代上内の資料)を活用</p> <p>◎海を走る列車の動画(歴史探偵)</p> <p>□鉄道が海の上を走るということから、驚きを与え、児童の興味・関心を高めるようにする。</p> <p>□地図上で高輪築堤が白金小学校の近くにあるということを知り、鉄道のはじまりが身近な地域にあることを捉えさせる。</p>
	江戸から明治にかけて、人々のくらしはどのように変化したのだろうか。	
展開	<p>○江戸時代と明治時代の高輪付近の様子を比較し、鉄道が開通したころのくらしの変化について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着物から洋服に変わっている。外国の文化を取り入れたのかな。 ・髪型が変わっている。 ・レンガ造りの橋ができています。 ・何かしらの乗り物に乗っている人が多くなった。 ・鉄道が走っていることが大きな違いだと思う。 ・外国の文化が入ってきたことにより、くらしが大きく変化したのではないか。 	<p>◎江戸時代(1850年ごろ)にえがかれた高輪の様子</p> <p>◎明治時代の初め(1872年)の高輪の様子</p> <p>□年表を用いて約20年間で急激な変化があったこと、その要因の一つとして鉄道が開通があることを捉えさせる。</p> <p>□「明治維新」と「文明開化」という言葉をしっかりと抑える。</p>
まとめ	<p>○学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代から明治時代にかけて、服装や乗り物など、人々のくらしが大きく変化した。こうした大きな変化を明治維新と呼んでいた。 ・明治時代になり人々のくらしや社会の様子が急激に変化し、今のくらしに近くなったと思う。鉄道が開通が急激な変化に関係していると思った。 	<p>【知・技】発言やノートから、「必要な情報を集めて読み取り、社会の様子が急激に変化したことについて理解しているか」を評価する。</p> <p>□小単元を通して、振り返りの活動の記録をまとめていくことによって、児童が身に付けた力を自ら確認できるようにする。</p>

第2時【ねらい】

幕末になって日本が開国したことや、新しい政府が誕生したことを理解する。

	○主な学習活動 ・ 児童の予想される反応	□教師の手立て ◎資料 【評価】
導入	<p>○前時の復習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 江戸から明治にかけてくらしが急激に変化した。 変化した一つの要因に鉄道の開通があるのではないか。 <p>○年表をもとに幕末の大きな出来事を発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国からペリーが来た。 開国した後、新政府ができた。 <p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>明治維新はどのようにして始まったのだろう。</p> </div>	<p>□教師の手立て ◎資料 【評価】</p> <p>◎時代の移り変わり年表</p> <p>◎明治時代の初め（1872年）の高輪の様子</p> <p>◎幕末のできごと年表</p> <p>□既習事項と関連付けて、変化のきっかけに着目させる。</p>
展開	<p>○江戸時代後期に起こった出来事確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ききんや百姓一揆が起きている。 しきりに外国船がくるようになった。 <p>○ペリーの来航について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ペリーが日本に開国を要求し、日米和親条約を結んで、日本は260年以上続いた鎖国は終わった。 ペリーは来航時に蒸気機関車などを持参し、海外の文化を日本に伝えた。 <p>○日本が開国した理由を調べて、明治政府がどんな国づくりを目指したのか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国との戦いに敗れて、外国の力の強さを痛感したから、外国に負けない強い国づくりを目指した。 新しい知識を世界に学び、国を栄えさせることを目指した。 これまで行ってきた幕府の政治を改めて、天皇が政治の中心となる国を目指した。 周りの国が植民地になったのを心配し、外国にも負けない強い国づくりを目指した。 	<p>◎幕末のできごと年表</p> <p>◎『鉄道開業 150周年記念新橋停車場、開業!』P.2・3（鉄道のはじまり、ペルリ提督横浜上陸の図、小蒸気車運転ノ図等）</p> <p>◎ペリーと開国（NHK for school クリップ）</p> <p>◎薩英戦争と四国艦隊下関砲撃事件</p> <p>◎植民地支配の地図</p> <p>◎五箇条の御誓文の内容とその発表の様子</p> <p>□明治政府が天皇中心の中央集権国家を目指したことを捉えられるようにする。</p>
まとめ	<p>○学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ペリーが来航し、日本は開国した。海外の進んだ技術や兵力の強さを痛感して、海外に追いつけるように新しい国づくりを進める動きが高まった。 だれが、どのように新しい国づくりを進めていったのか調べてみたい。 	<p>【知・技】発言やノートから、「必要な情報を集め、読み取り我が国が開国したことや、新しい政府が誕生したことについて理解しているか」を評価する。</p>

第3時【ねらい】

新しい国づくりに向けた主な人物の思いを調べて、学習問題をつくり、予想したことをもとに学習計画を立てる。

	○主な学習活動 ・ 児童の予想される反応	□教師の手立て ◎資料 【評価】
導入	<p>○前時の復習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペリーが来航し、日本は開国した。 ・新しい国づくりを進める動きが高まった。 ・天皇中心の政治を行う国家を目指した。 <p>○本時のめあてを確認する。</p>	<p>◎ペルリ提督横浜上陸の図</p> <p>◎五箇条の御誓文の内容とその発表の様子</p> <p>□既習事項と関連付け、誰が新しい国づくりに関わったかを意識させていく。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 新しい国づくりに向けた人物の思いについて調べ、学習問題をつくろう。 </div>		
展開	<p>○新しい国づくりに関わった人物を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治天皇は、鉄道の開通をきっかけの1つとして新しい国づくりを進めようとした。 ・明治天皇が乗っている号車の後ろに、乗っている西郷隆盛、大隈重信、板垣退助は重要な人物だ。 <p>○新しい国づくりを目指した人物の思いについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大隈重信と伊藤博文は新しい国づくりには鉄道の開通等による産業や工業の発達が必要だと考えた。 ・西郷隆盛は新しい国づくりには軍備拡張が必要だと考えた。 <p>○疑問を出し合い、学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのように工業や産業を発達させていったか。 ・大隈重信と伊藤博文の行動は世の中にどのような影響を与えたか。 ・西郷隆盛の反対をどのように抑えたか。 	<p>◎明治天皇の庶民への勅語</p> <p>◎1号列車の座席の配置図</p> <p>◎鉄道開通までの議論の様子の動画(歴史探偵)</p> <p>□人物の思いと社会の様子の変化に着目して、学習問題を見出しているかを確認する。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 【学習問題】 大隈重信や伊藤博文らは、どのように新しい国づくりを進めたのだろうか。 </div>		
	<p>○予想をもとに、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軍備拡張について(国内の整備優先について) ・殖産興業について(海外からの技術や文化の流入について) ・帝国議会について(議会、憲法について) 	<p>◎明治政府の政策年表</p> <p>◎1号列車の座席の配置図</p> <p>【主】 発言やノートから「学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。</p>
まとめ	<p>○学習の振り返りをする。</p>	

第4時【ねらい】

西郷隆盛や大久保利通らが中心になって進めた明治政府の国内整備のための政策について捉える。

	○主な学習活動 ・ 児童の予想される反応	□教師の手立て ◎資料 【評価】
導入	<p>○明治政府の中でも、大隈重信や伊藤博文らと西郷隆盛や大久保利通らの考え方の違いを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大隈重信や伊藤博文らは海外から技術を学び、鉄道を開通させようとした。 ・西郷隆盛や大久保利通らは国内の整備をすることが優先で、軍備を整えることが急務だと考えた。 <p>○本時のめあてを確認する。</p>	<p>□学習問題を確認し、国づくりを巡る二つの考えの違いに気付かせる。</p> <p>◎鉄道開通までの議論の様子の写真</p> <p>□両者の考えの違いを分かりやすく提示できるようにする。</p> <p>◎明治政府内部の鉄道反対論 西郷隆盛、大久保利通の考え（『日本鉄道事始め』P.42）</p>
<p>明治の国づくりの中で、軍備拡張を進めた人々の考えや行動を調べよう。</p>		
展開	<p>○西郷隆盛や大久保利通らが目指した国づくりについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内を強化させることを最優先とした。 ・政府の収入を安定させるために、土地の価値の3%を課税した。土地の価格に応じてお金を治めさせた。（地租改正） ・江戸の大名の領地を天皇に返却させ、全国を府や県に分け政府に権力が強まるようにした。（版籍奉還） ・府には府知事、県には県令を配置し、地方を管理することで、明治政府の権力が強まり、国の体制が整っていった。（廃藩置県） ・明治政府は身分制度を改めた上で、20歳以上の男子を3年間軍隊で働かせることを義務づけた。いざというときに兵隊となって戦うことを定めた。（徴兵令） ・大久保利通と木戸孝允らは、外国に追いつくために、産業を盛んにし、強い軍隊をもつことに力を入れた。（富国強兵） ・最初は鉄道開通に反対していた大久保利通は、海外視察を行い、鉄道の発展なくして、日本の繁栄はありえないとの考えに変わった。 	<p>◎明治政府の政策年表</p> <p>◎地租改正</p> <p>◎版籍奉還と廃藩置県</p> <p>◎四民平等と徴兵令</p> <p>◎殖産興業と富国強兵（NHK for school）</p> <p>【思・判・表】発言やノートから、「西郷隆盛や大久保利通らが進めた政策が、国づくりに果たした役割を捉えることができているか」を評価する。</p>
まとめ	<p>○学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治政府の西郷隆盛や大久保利通らは国づくりの土台をつくるため、兵力の強化など国内の整備に力を入れていた。 	

第5時【ねらい】

大隈重信と伊藤博文らが中心となって進めた殖産興業が国づくりに大きな役割を果たしたことを捉える。

	○主な学習活動 ・ 児童の予想される反応	□教師の手立て ◎資料 【評価】
導入	<p>○西郷隆盛や大久保利通らの新しい国づくりに向けた考え方を振り返り、新たに大隈重信や伊藤博文らの考えを資料から読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貿易を豊かにし、庶民が豊かになることを願った。 ・鉄道を開通させ、物流を豊かにし、経済を発展させ、国を成長させたかった。 <p>○本時のめあてを確認する。</p>	<p>□学習問題と学習計画を確認し、新たに大隈・伊藤の考え方をつかませる。</p> <p>□「殖産興業」の言葉の意味をおさえる。</p> <p>◎明治政府内部の鉄道反対論 西郷隆盛、大久保利通の考え（『日本鉄道事始め』P.42）</p> <p>◎鉄道建設を推進した人々 大隈重信、伊藤博文の考え（『日本鉄道事始め』P.37）</p>
	<p>大隈重信や伊藤博文らがすすめた殖産興業について調べよう。</p>	
展開	<p>○大隈重信や伊藤博文らが目指した国づくりについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国から機械を買い、富岡製糸場を建設し、経済を発展させようとした。 ・外国人技師から技術を学び、指導者を増やし、地域で工業が発展させるようにした。 ・各地に製糸、紡績、兵器、造船などの官営工場をつくることで経済を発展させようとした。 ・工場で作られたものや、鉱山で取れたものを主要な港へ運ぶ手段として鉄道が用いられ、経済の発展に大きな影響を与えた。 ・鉄道が開通したことによって、移動が高速化し、人々の移動の概念を変えた。 <p>○福沢諭吉の働きについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本を著して西欧の考えを紹介した。 ・西欧の次述や文化を取り入れることを進めた ・教育に力を入れ、慶応大学の基を作った。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎殖産興業（富岡製糸場の内部） ◎主な官営工場と鉱山 ◎生糸の生産量 ◎主要な港の地図 ◎殖産興業と富国強兵（NHK for school） ◎明治と文明開化（NHK for school） <p>□鉄道の拡大と殖産興業が大きく関連していたことを抑えさせる。</p> <p>◎福沢諭吉（肖像画）、慶應義塾大学（写真）</p> <p>◎「西洋事情」「学問のすすめ」</p> <p>□福沢諭吉については、西欧の技術や文化を取り入れることの大切さを説いたことを中心に取り扱う。</p> <p>【思・判・表】発言やノートから「大隈重信や伊藤博文らが進めた殖産興業が国づくりに果たした役割をとらえることができているか」を評価する。</p>
まとめ	<p>○学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大隈重信や伊藤博文らは鉄道など外国文化を積極的に取り入れた。鉄道は、富岡製糸場などで作られたものや鉱山開発で採掘されたものを運ぶ役割を果たした。日本の工業や貿易などが発達し、新しい国づくりが進んでいった。 	

第6時【ねらい】

士族の反乱や自由民権運動の広がりが、国会開設や大日本帝国憲法の発布につながったことを理解する。

	○主な学習活動 ・児童の予想される反応	□教師の手立て ◎資料 【評価】
導入	<p>○西郷隆盛などがとった行動について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・士族は明治政府に武力で反乱を起こす。 ・反乱の件数は増えていったが明治政府がこれを鎮圧した。 ・西郷隆盛が明治政府に対して西南戦争を起こした。 ・武力による反乱ではなく、言論による主張を行った。 <p>○本時のめあてを確認する。</p>	<p>□新政府の改革が進むと、多くの士族が生活に困窮したことをつかませる。</p> <p>◎西南戦争と士族の反乱の様子</p> <p>□征韓論争について簡単に説明する。</p> <p>◎板垣らが出した国会開設の要望書(写真)</p>
	<p>板垣退助らの主張は、どのように実現したのかを調べよう。</p>	
展開	<p>○板垣退助らの主張の内容や行動を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広く国民の意見を聞くべきだと主張した。 ・議会を開くべきだと主張した。 ・自由民権運動が各地に広がった。 ・国会開設を求める声広がった。 <p>○それに対する明治政府の動きについて調べて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治政府は、演説会や新聞などを厳しく取り締まるようになった。 ・明治政府は、1890年に国会を開くことを約束した。 ・大日本帝国憲法を制定し、翌年に帝国議会を開いた。 <p>○帝国議会などの様子について調べて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会は貴族院と衆議院からなり、衆議院だけが選挙で選ばれた。 ・選挙権を持つのは、国民の1.1%のみだった。 	<p>◎板垣らが出した国会開設の要望書(文章)</p> <p>◎国会開設を望む声</p> <p>◎自由民権運動の広がり(地図)</p> <p>□この時期になると、武力に変わって言論での自由民権運動が広がったことをつかませる。</p> <p>◎演説の中止を求める警察官</p> <p>◎自由民権運動の弾圧(NHK for school)</p> <p>□明治政府は、自由民権運動の高まりを抑えきれず、国会開設を約束したことを捉えさせる。</p> <p>◎国会開設までの年表</p> <p>◎議会の様子</p> <p>◎初めての選挙の様子と当時の投票率</p> <p>【知・技】発言やノートから「士族の反乱や各地での自由民権運動の広がりが、国会の開設や大日本帝国憲法の発布につながったことを理解しているか」を評価する。</p>
まとめ	<p>○学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板垣退助らは、広く国民の意見を聞くことを主張した。その動きは、自由民権運動として各地に広がり、明治政府が国会を開き、憲法をつくることにつながった。 	

第7時【ねらい】

大日本帝国憲法の特色について調べ、日本帝国憲法とは異なり天皇に強い権限があったが、アジアでは最初の憲法として政治の仕組みが整えられたことを捉える。

	○主な学習活動 ・児童の予想される反応	□教師の手立て ◎資料 【評価】
導入	<p>○前時の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由民権運動が各地に広がった。 ・明治政府は国会を開くことを約束した。 ・伊藤博文らが憲法をつくる仕事に力を注いだ。 <p>○本時のめあてを確認する。</p>	<p>◎伊藤博文（肖像画）</p> <p>◎大日本帝国憲法（NHK for school）</p>
	伊藤博文らがつくった大日本帝国憲法について調べよう。	
展開	<p>○大日本帝国憲法がつくられるまでの経緯について調べ、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板垣退助や大隈重信は自由党や立憲改進黨などの政党をつくった ・伊藤博文はドイツの憲法を学び、憲法をつくる仕事に力を注いだ。初代内閣総理大臣となった。 ・1889年、大日本帝国憲法が公布された。 <p>○大日本帝国憲法の特色について調べ、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大日本帝国憲法の主権者は天皇であり、軍隊を率いたり条約を決めたりするのは天皇の権限であった。 ・今の日本国憲法とは大きく違い、国民主権ではない。 ・天皇がすべての権限をもち、政府が国民をまとめるというものだった。 <p>○この憲法が制定された意味について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・憲法も国会もアジアでは、初めてのものだった。 ・これによって日本の近代的な政治の仕組みが整った。 ・西欧からもだんだん認められるようになってきた。 	<p>◎憲法の公布までの年表</p> <p>◎大日本帝国憲法の公布の様子</p> <p>◎大日本帝国憲法（NHK for school）</p> <p>◎大隈重信（NHK for school）</p> <p>◎大日本帝国憲法にもとづく国のしくみ</p> <p>◎大日本帝国憲法の主な内容（要約）</p> <p>◎日本国憲法の主な内容（要約）</p> <p>□すでに学習した日本国憲法との違いに着目させるとともに、この時期にできた憲法というものの意味を捉えさせる。</p> <p>【思・判・表】意見文から「大日本帝国憲法の特色について、日本国憲法と比較して捉え、この時期に制定された意味を捉えているか」を評価する。</p>
まとめ	<p>○学習の振り返りとして、意見文づくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊藤博文らが中心になって作った大日本帝国憲法は、天皇の権限が強く、今の憲法と比べると国民のためのもとは思えないと思う。でも、この憲法で明治政府の基本的な国の治め方が決まったし、憲法の公布と国会開設は、アジアで初めてということは大きな価値があったと思う。 	<p>□意見文づくりでは、①二つの憲法を比べて自分が考えたこと、②当時として、どんな意味があったと思うかの二点を抑えて書くように指示する。</p>

第8時【ねらい】

調べたことを振り返り、学習問題について自分の考えを関連図にまとめるとともに、相互の意見交換によって考えを深め合う。

	○主な学習活動 ・ 児童の予想される反応	□教師の手立て ◎資料 【評価】
導入	<p>○前時までの新しい国づくりの政策を話し合う。</p> <p>○本時のめあてを確認する。</p>	<p>□誰がどのような政策を進めてきたかをキーワードで思い起こさせる。</p> <p>◎今までに使った資料</p>
	<p>新しい国づくりを進めた人々が行ったことを整理し、学習のまとめをしよう。</p>	
展開	<p>○明治の新しい国づくりを進めた人々が行ったことを整理して、関連図にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大隈重信や伊藤博文は鉄道の開通など欧米の文化を取り入れた。鉄道の技術が富岡製糸場で使われたり、輸送網が拡大したりしたことで産業が発達した。殖産興業を大いに進めようとした。 ・西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允らは、国内整備を進めるとともに、徴兵令などで富国強兵を推進した。 ・板垣退助らは、国会を開くことを主張した。その動きは、自由民権運動として各地に広がり、国会開設につながった。 ・伊藤博文はドイツの憲法を学び、大日本帝国憲法を制定した。 <p>○関係図を見せ合いながら、どのような考えでまとめたのかを相互に伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治政府の主な政策について、誰がどのような考えで行ったのか。 ・その結果どのようになったのか。 <p>○友達との意見交換をふまえて、「明治政府の国づくりはどのように進められた」といえばよいか、自分の考えをノートにまとめる。</p>	<p>□行った政策、主に進めた人物、その目的や結果、当時の世の中の様子などを、キーワードを用いて関連図を作成させる。</p> <p>□友達と意見交換する時には、関係図を用いて、説明できるようにする。</p> <p>□友達と対話することによって、自分と異なる意見を聞き、それを自分の考えに生かせるようにする。</p> <p>【思・判・表】関連図とノートの記述を基に、「明治政府の諸政策や人物の働きが、関連的・総合的に捉えられているかどうか」を評価する。</p>
	<p>明治新政府の中には、大隈重信や伊藤博文らのように、欧米に追いつくため、鉄道技術や産業を日本に取り入れることが必要だと考え、殖産興業を推進する人々もいた。一方で、国内の整備が優先と考えた西郷隆盛らは、軍備拡張して国力を高めることを主張した。それぞれの考えが取り入れられる形で、新しい明治時代の国づくりにつながった。</p> <p>その後、士族に反乱や自由民権運動が広がったが、明治政府は国会開設を約束したり、大日本帝国憲法を定めたりして、民衆の騒ぎをしずめようとした。</p>	
まとめ	○学習の振り返りをする。	